

令和4年度 宮城県の歯科口腔保健事業の 取組状況について (健康推進課)



©宮城県・旭プロダクション

妊娠期における歯科保健対策事業

■ 事業目的

妊産婦等を対象とした歯科口腔保健に関する啓発冊子を増刷し、産科医院，助産院，市町村の関係機関を通じ配布するもの。

■ 実施主体 宮城県

- ### ■ 事業実績
- ・「妊娠期からはじめるお口の健康」パンフレットを12,000部増刷し配布。
 - ・産科医院，助産院等向けにリーフレット（歯科健診受診勧奨のお願い）を作成，配布。



宮城県歯科保健大会

■ 事業目的

家庭の中で歯の健康管理を通じた健やかな生活づくりを推進し、「全身の健康は、歯の健康管理から」という予防意識を広く県民に啓発することを目的とする。

■ 実施主体 一般社団法人宮城県歯科医師会・宮城県・宮城県教育委員会

■ 事業実績

- ・各種コンクール最優秀賞等受賞者の表彰式を宮城県庁で開催
- ・特別講演動画の公開 期間：11/1～30 宮城県ホームページで公開
講演：「笑って確認 自分の歯 落語で健口づくり」春風亭 与いち氏
- ・宮城県歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語・コンクール受賞作品展 県庁1階ロビー 11/7～18
- ・宮城県歯・口の健康に関する標語・図画・ポスターカレンダーを作成



フッ化物洗口普及事業

■ 事業目的 市町村への技術的支援，財政的支援によりフッ化物洗口の円滑な導入を図る。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

技術的支援

- ・フッ化物洗口マニュアル，啓発媒体，研修資料等の作成及び提供
- ・フッ化物洗口に関する市町村職員への研修
- ・その他のフッ化物洗口の円滑な導入手順の確立に必要な支援

財政的支援

事業の実施に関し市町村が要した経費に係る補助（補助率1/2）

■ 事業実施期間 平成30年度から令和5年度まで（6カ年）

■ 事業実績

1 町が新規に事業開始

フッ化物洗口導入支援実績がある市町村数：R5末現在で16

新規導入施設 幼保施設4施設，小学校1校，
中学校1校

- ・市町村及び施設への説明会対応
- ・導入施設での保護者説明会講師等対応
- ・新規導入施設への導入経費の補助
- ・導入時の技術的助言・支援



2

幼児歯科保健関係者研修会

■ 事業目的

幼稚園・保育園・認定こども園職員，市町村母子保健・歯科保健担当者等の口腔ケアに関する知識と技術の向上を図るため研修会を実施するもの。

■ 実施主体

宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

「むし歯予防とフッ化物応用」

「乳幼児期の歯科口腔保健～歯と口の役割・歯の磨き方について～」
をテーマに研修動画を作成（宮城県口腔保健支援センター作成）



学童期・思春期の歯と口腔の健康づくり支援者研修会

■ 事業目的

小中学校教職員（主として保健主事，養護教諭）等に対する研修会を実施し，学童期における歯科口腔保健を推進する。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

「子どものむし歯と歯肉炎」（基礎編）（予防編）をテーマに研修動画を作成（宮城県口腔保健支援センター作成）



3

学童期・思春期の歯周病予防啓発事業

■ 事業目的

高等学校の生徒に対し、学校主体のイベント等で歯間清掃用具の体験等を通じた普及啓発を実施することにより、歯周病予防を主とした歯科口腔保健の意識向上を図る。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

- ・ 県内4校、生徒約1、500名へ歯間清掃用具（歯ブラシ、デンタルフロス、ポイントみがき用歯ブラシ）と使用方法のチラシ、啓発リーフレットを配布。
- ・ 配布使用後の意識や行動の変化について、アンケート調査を実施 ※参考資料1



職域に対する歯科保健普及事業

■ 事業目的

働き盛り世代の歯科疾患への予防啓発や職場での歯科保健への取組を図るため、パンフレットを作成し配布するもの。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

- ・ 啓発リーフレットを作成・配布（約1、300部）
- ・ 職場における歯と口腔の健康づくりの取組についてアンケート調査を実施（スマートみやぎ健民会議会員約900団体）※結果取りまとめ中



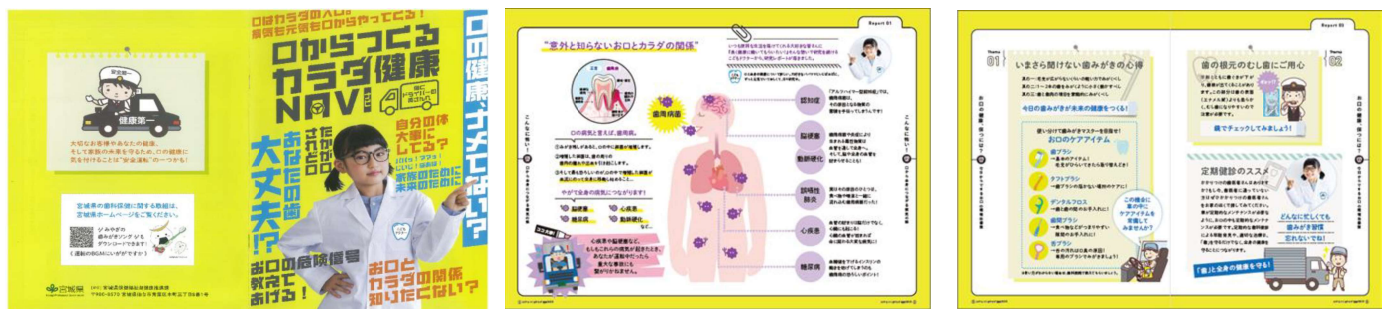
働き盛り世代の歯と口腔の健康づくり普及啓発事業

■ 事業目的

働き盛り世代の歯周疾患への予防啓発を図るため、啓発資料を作成し、配布するもの。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績 運輸・運送業従事者向けパンフレット（口からつくるカラダ健康NAVI）を作成・関係団体を通じ配布し、知識の普及啓発を実施（約20,000部）



多分野連携プログラム事業

■ 事業目的

講演会等を通じ、歯と口腔の健康は全身の健康に影響を及ぼすということを情報共有し、広く周知する機会を設けるもの。

■ 事業実績

メタボ対策・食育等の啓発と連携した広報活動の展開（ダンス動画の作成等）

要介護者及び障害児・者の口腔ケア支援者研修事業

- **事業目的** 要介護者及び障害児・者の歯と口腔のケアを担う歯科医師，歯科衛生士及び介護等に従事する職員等の口腔ケアに関する知識と技術の向上を図るため，研修会を実施するもの。
- **委託先** 一般社団法人 宮城県歯科医師会
- **事業実績** 介護職員や社会福祉施設関係者等多職種を対象とし、要介護者、障害児・者等の口腔ケアに関する知識、技術向上を目的としたWEB研修（オンデマンド配信も実施）を開催

日時	演題	講師	視聴申込者数
10月15日	認知症の方への口腔ケア	宮城県歯科医師会在宅歯科部会部員 河瀬 聡一朗 先生	213名
	歯科衛生士が関わる障害児・者歯科 ～1次医療機関と2（3）次医療機関が繋がるために～	地方独立行政法人宮城県立こども病院 歯科口腔外科・矯正歯科 歯科衛生士 谷地 美貴 先生	
10月22日	お口の健康から考える、要介護高齢者の「生活支援」と「食支援」～施設歯科衛生士の立場から～	特別養護老人ホームまほろばの里向山 歯科衛生士 片桐 美由紀 先生	240名
	歯科衛生士が関わる障害児・者歯科 ～口腔ケア支援者と患者さんとそのご家族が繋がるために「ちょっとした配慮」～	地方独立行政法人宮城県立こども病院 歯科口腔外科・矯正歯科 歯科衛生士 田代 早織 先生	
10月29日	口腔清掃の自立と口腔ケア介入について考えてみよう	宮城県歯科医師会在宅歯科部会部幹事 相澤 俊彦 先生	243名
	一人ひとりの豊かな生活につなげる口腔ケア支援 ～訪問歯科衛生士の立場から～	一般社団法人仙台歯科医師会在宅訪問・障害者・休日夜間診療所 歯科衛生士 岸 さやか 先生	

6

在宅歯科医療連携室整備事業

- **事業目的**

口腔内に問題を抱えている在宅の要介護者・障がい者及びその家族等のニーズに応え、在宅歯科における歯科や介護等の他の分野とも連携を図るための窓口を設置することにより、地域における在宅歯科医療の推進及び他分野との連携体制の構築を図るもの。
- **委託先** 一般社団法人 宮城県歯科医師会
- **事業概要**

宮城県歯科医師会館内に「みやぎ訪問歯科相談室」を設置し、下記の業務を実施。

 - (1) 口腔ケアに関する相談対応
 - (2) 在宅歯科医療機関の紹介・情報提供
 - (3) 在宅歯科医療機関への機器の貸出
 - (4) 在宅歯科医療の推進等に関する普及啓発
- **事業実績(R5. 2. 17現在)**
 - (1) 口腔ケアに関する相談対応
相談件数： 141件 在宅口腔ケア等実施機関： 161件
 - (2) 在宅歯科医療機関の紹介・情報提供
在宅歯科医療機関紹介数： 101件
 - (3) 在宅歯科医療機関への機器の貸出
在宅歯科医療機器貸出件数： 12件

7

(4) 在宅歯科医療の推進等に関する普及啓発

みやぎ訪問歯科相談室研修会（WEB開催，オンデマンド配信も実施）

講師：宮城県歯科医師会 在宅歯科部会長 山崎 猛男先生		
日時	演題	視聴申込者数
10月15日	「歯科訪問診療事始め」～入門編～	64名
10月22日	「人生100年時代に歯科が行えること」～応用編～	74名
10月29日	「症例によるリスクマネジメント」～多職種連携～	79名

障害児親子歯みがき教室

■ 事業目的

障害児・者については、障害児・者自身と保護者による適切なセルフケアの徹底が必要であることから、歯科口腔保健に対する講話及び歯科保健指導を実施し、意識啓発と技術習得を図るもの。

■ 委託先 一般社団法人 宮城県歯科衛生士会

■ 事業実績 県内2か所の児童発達支援施設で親子歯みがき教室を実施
・11月9日 塩竈市「ひまわり園」
・11月30日 白石市「ひこうせん」



10

障害児・者歯科保健・医療体制整備事業

■ 事業目的

障害児・者の口腔ケアや歯科治療を行う診療所に対し、人材育成の支援を行うことにより、県内における障害児・者歯科保健医療体制の拡充を推進するもの。

■ 補助対象 一般社団法人 宮城県歯科医師会（補助率2/3）

■ 事業概要

- (1) 障害児・者に対する歯科保健・医療の提供体制整備に向けた人材育成
- (2) 障害児・者に対する歯科保健医療の提供体制整備に向けた施設整備

■ 事業実績

- (1) 障害児・者に対する歯科保健・医療の提供体制整備に向けた人材育成

運営会議等

開催回数：4回

検討事項：・セミナー実習の内容と開催形式（ワークショップ）について
・視察研修について 等

人材育成研修

開催回数：8回 受講者数：74名（延べ416名）

- (2) 障害児・者に対する歯科保健医療の提供体制整備に向けた設備整備

設備整備

整備設備名：実習模型（静脈注射トレーニング用モデル）3台、
テキスト（障害者歯科関係の書籍）9種 計54冊

9

在宅及び障害児(者)歯科医療連携室整備推進事業

■ 事業目的

各医療圏に在宅及び障害児・者に対する歯科医療提供体制を整備するため、人員の配置及び研修会の実施に補助するもの。

■ 補助対象

一般社団法人 宮城県歯科医師会 (補助率2/3)

■ 事業概要

在宅の要介護者等に対する歯科保健・医療の相談・診療窓口機能を整備するため下記を実施。

- (1) 既存窓口への専門職配置
- (2) 運営委員会の開催

■ 事業実績(R5. 2. 17時点実績)

- (1) 既存窓口への専門職配置
 - ・みやぎ訪問救急ステーション対応件数
訪問回数：537回 訪問回数中の専門的口腔ケア：358回
- (2) 運営委員会
1回開催
- (3) 歯科医療連携室合同協議会
1回開催

10

口腔保健支援センター設置・運営事業

■ 事業目的

本県の歯科保健事業の充実・強化を図り、関係機関・団体との連携を強化するため、歯科口腔保健の推進に関する法律に基づき、「口腔保健支援センター」を設置・運営。

■ 組織体制

センター長，副センター長，歯科医師（非常勤職員）1名，歯科衛生士（非常勤職員）1名

■ 事業実績(令和4年度における主な新規の取組)

- (1) 人材の育成を目的とした研修の実施
 - ・隔月でニュースレターを発行（歯っぴいみやぎ）
 - ・各種研修動画の作成（再掲）
- (2) フッ化物洗口普及事業
 - ・各市町村への個別支援（施設職員・保護者説明会講話、Web打ち合わせ等）
- (3) 市町村・関係団体との連絡調整
 - ・各歯科保健事業の実施に向け、市町村や各関係団体とのWeb打ち合わせ等を実施
 - ・運輸・運送業の歯科保健対策を関係団体と意見交換
 - ・産科医院等向けのリーフレットの作成・配布（再掲）
 - ・運輸・運送業向けパンフレットの企画・監修（再掲）
 - ・事業所向け啓発リーフレットの企画・監修（再掲）
- (4) その他
 - ・県歯科実態調査の実施・集計・分析
 - ・歯間清掃用具体験実習の用具等配布（学童期・思春期の歯周病予防啓発事業）



11

歯科疾患実態調査(全国調査)

■ 概要

国の次期「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」の基礎資料の収集のために、国の指定する県内3地区で対象者に口腔診査を実施したものの。

■ 調査時期

令和4年11月

■ 実施方法等

対象者が会場に集合，県が委嘱する調査員（歯科医師，歯科衛生士）が口腔診査を実施。（対象者184名，協力者33名）

宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画に係る調査(県調査)

■ 概要

県の「宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画」の取組状況及び各目標の最終評価並びに次期計画策定に向けた見直しに係る基礎資料の収集のために，各種調査を実施したものの。

■ 調査時期

令和4年8月から12月

■ 実施方法等

※資料2のとおり